

8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 新政会の船越洋一でございます。さきに通告をしておりました2点について、市長並びに教育長に質問をいたします。

まず1点目ですが、久田小学校の校舎外壁塗装工事ほかについてであります。現在の校舎は、昭和54年に建築され、築42年になりますが、その間、生徒数の増により、増改築がされ、現在に至っております。しかし、老朽化により、校舎の外壁は剝がれ、漏水による地盤沈下もあり、ポンプ室は傾き、付近の地下は空洞化が見られ、また歩道も地盤沈下している状況であります。健全な教育行政を進めるためには、環境をよくする必要があると思いますが、これらの改修工事を早急に整備ができないか、教育長並びに市長に伺います。

次に、2点目ですが、廃校の利活用についてであります。対馬市においては、人口減少に伴い、学校の統廃合が進められておりますが、多くの廃校を利用し、多方面での利活用を検討すべきだと思いますが、市の教育施設跡利用に関する基本方針には、産業の振興、社会福祉の向上、地域の雇用の創出、地域社会への貢献、その他地域の活性化に著しく寄与すると認められるものについて、貸付けを決定し、教育施設跡の積極的な有効活用を促進するとあります。

また、地方創生とは、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目指すとあります。このような観点から、市内に点在する多くの廃校の利活用を島内外に広く公募をかけ、民間による事業を展開してはどうか、市長の考えを伺います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 船越議員の質問にお答えいたします。先に2点目の廃校の利活用のほうは、私のほうから答弁させていただきます。

教育施設跡の市有財産を貸付けする場合は、対馬市教育施設跡利用に関する基本方針に基づいて、まず公共施設としての利用を最優先し、次に地区による利用を優先、利用見込みがない場合は、雇用の創出や地域の活性化等につなげるため、民間事業者等にも使用していただき、その利活用を図ることとなっております。また、この方針に基づき廃校舎等の利活用を図ろうとする場合は、事業等を行うため、廃校舎等を利用しようとするものを公募することとなっております。

本市の少子高齢化が進む中、学校の統廃合も進められ、現在、廃校舎は24校あり、そのうち利活用されていない廃校舎は16校であります。民間事業者が廃校舎を利用するためには、民間公募に関して、必要な事項を決定し、公募を行います。応募があった利用者の事業内容について、対馬市学校跡地利活用検討委員会において、地元地区の意見を勘案し、審査を行い、利用者を決定することとなっておりますが、廃校舎の利活用が進まない理由といたしましては、施設の規模

が大きいことや利用料が高額になることが考えられます。

このことから、本定例会に議案として上程し、議決いただきましたが、事業者の廃校利活用を進めるため、産業の振興、社会福祉の向上、雇用創出などを目的とする、地域の活性化を図る利用であれば、利用開始後3年間の貸付料を減免し、その後も事業が安定するまで、施設利用料を減額することも可能となります。また、契約までの手続期間を大幅に短縮することができ、事務を簡素化することで、廃校利活用を推進してまいりたいと考えております。

私のほうからは以上であります。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 私のほうからは、船越議員御質問の久田小学校校舎における、外壁塗装工事ほかについてお答えをいたします。

現状といたしましては、久田小学校校舎につきましては、昭和54年に新築され、建築後42年を経過しており、経年劣化による老朽化が進んでいる状況にあります。外壁については、特にグラウンド側の校舎外壁塗装の劣化が進んでいる状況でございます。また、ポンプ室におきましても、御質問のように地盤沈下による傾きも顕著であり、校舎前駐車場においても、地盤沈下によるひび割れが発生するなど、施設の老朽化が要因と思われる影響も発生している状況でございます。

久田小学校におきましては、御指摘の件を含め、対応すべき案件が複数あり、教育委員会では、これまで優先すべき案件から順次対応をしてまいりました。これまで、校舎及び屋内運動場の雨漏りを補修、グラウンドの改修、教室及び廊下等の床張り替え、トイレの洋式化などの事業を行い、過去5年間でおよそ1億3,000万円の改修工事を行ってきております。

このように、対馬市におきましては、久田小学校含め、市内における学校施設の維持管理について、建築後40年を超える施設が多数あり、毎年多くの改修、修繕等の要望を数多くいただきますが、大きな予算を伴う改修、市単独予算での対応となる改修など、その対応に大変苦慮している状況でございます。

しかしながら、子供たちのために安全安心な教育環境づくりに取り組むことが、教育委員会の重要な業務の一つであります。まずは、各学校における様々な状況を精査し、危険性や緊急性を考慮した上で、優先順位を決め、その中で久田小学校につきましても、できる限り早急な対応を行ってまいります。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） まず、1点目の久田小学校のことについてお伺いをいたします。

これは、私も5年ほど前に、1回質問した経緯がございます。しかしながら、それから一向に

改良はされないということを考えますと、この久田小学校というのは、統廃合を考えているんですか、それを答弁してください。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） お答えいたします。現時点で、久田小学校については考えておりません。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 5年も手つかずでおるということになりますと、統廃合を考えているから、建物、校舎の老朽化の箇所についてでも整備をしないのかなと、そういうふう思うわけです。

その間、5年間の間に、さっき教育長言われたように、運動場の整備、あるいは台風時に起った体育館の屋根の修理、それから校舎内の廊下の補修、それから家庭科室の床の補修、こういうのは逐次やってはいただいておりますが、要は外壁を、恐らく教育長も見に行かれたと思うんですが、外壁は剥がれてしまってます。

子供たちにすると、自分たちの学びやの学校の姿を見るときに、あんな剥がれた、あるいはポンプ室のあんな傾いたような状況、これを何年もほたつたまんましているわけですから、これを教育行政として、早急にこれはやる必要があると思うんです。

その辺いかがでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 御指摘ありがとうございます。今おっしゃったように、6月7日に現地に、教育部長とともに確認に出向きました。事務職員の先生立会いの下に、各校舎、御指摘の場所等確認させていただきました。

今ございましたように、外壁の汚れ、そして劣化等については、これはひどいなど、私も実感いたしました。それとポンプ室の傾きについても、万が一地震等があったときに、倒壊のおそれがあるのではないかなということも考えました。

この点につきましては、先ほど答弁いたしましたように、早急の対応が必要であると考えております。市長部局とも連携をしながら、繰り返しになりますけれども、可能な限り早く対応してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） この久田小学校の件については、今現在でも、私もこの前、校長先生といろいろお話をさせていただきました。先月の29日、小学校の運動会がありまして、私もそこに参加させていただいたんですが、その折、5年前にやった質問の中で、どのようになっ

とるかなということで、ずっと校長先生と一緒に見て回りました。ところが、現状は変わっておりません。

ほかにもまだあるんです。体育館の雨漏り、それから校舎の雨漏り、低学年の階段、2階部分の雨漏り、もう剥がれています、塗料も。それから水道水の濁り、それから漏水の、先ほど言いましたけど、漏水による地盤沈下、それから運動場のフェンスの破損、学校運動場の砂の飛散、これは教習所のほうに向かっていきますので、教習所のほうに砂が飛んでいるんです。そこら辺もしっかり施設の中で止まるように考える必要があるかと思います。

それから、特別支援学級、これが1学級増えたもんですから、エアコンがない。スポットクーラーというのをかけて、今それをかけているんですが、かけていただきましたけれども、音が高いんです。があーって音がするんです。これじゃ勉強になりません。そういうこともあります。こういうことも含めた中で、久田小学校の改修工事を含めた中で、こういうのをどうしていくかなということは、真剣に考えていただきたいと思います。

予算がないから、重点的に、その重点箇所から進めていきます。5年たってでもまだできてない。

市長、こういうことが現状にあるんですが、予算がないために、子供たちが、そういう状況にあるということを、今、訴えておるわけですが、市長はどのように考えますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほど、教育長のほうからも答弁がございましたように、久田小学校の特に雨漏りとか床材、ここら辺については、確か5年前になりますか、議員のほうから質問をいただいたことを承知しております。

そういう中で、優先順位の高い順位から順次整備をしていこうということで、先ほども教育長が答弁しましたとおり、5年間で約1億3,000万ぐらいですか、この辺の整備を行ってきたということで、まだまだこれだけでは不足するということは認識しておりますので、今後もできる限りの予算をつけながら、外壁の塗装等をはじめとした整備を行っていきたいと思っております。

できる限りの予算を、何とかかき集めてでもやっていきたいという思いを持っております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 予算をかき集めていただけますか。1億3,000万かけるとのことですが、大きな事業は運動場の整備にかかると、確かに運動場も雨が降っても水がたまらんようになりましたから、子供たちは喜んでおります。

しかしながら、学校の中のそういうところが、危険な箇所があるわけですから、これは教育行政の中で、教育委員会にも予算がありますから、それをあまり教育委員会に何とかせ、なんとか

せと言うてても、振興計画にでも上げてでもやっつかんとできんと思うんです。

しかし、それでは、子供たちは環境がよくなりません。ですから、市の一般財源でも結構ですから、そういうのを、そういうところに充てていただいて、早期にこれができるように、力を貸してください。

私のためじゃない、子供たちのために予算をつくってくださいという願いをしおるわけですから、どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今、この人口減少対策の中で、特に、子供は対馬の宝というようなことで、いろいろと行政を進めてまいっておりますけれども、議員おっしゃられるように、私自身も本当に子供は宝ということで、私自身は教育行政のほうには、かなりの予算は投入してきていると自負しておりますけれども、今後でもできる限りの予算を充当できるように、努力していきたいと思えます。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 教育長、市長の積極的に予算をつけるという答弁でしたので、しっかりこれは、計画書をつくって早急にやれるように準備をしてください。

私も、豆敷小学校と豆敷の中学校にも訪問させていただきました。ここも立派な校舎です。本当に。ほかの小学校からすると大きな差あります。しかしながら、そこで学んでる子供たちは幸せだなと思えます。しかし、それが当たり前だと思うんです。

ところが、それに比べて、久田小学校というのは、そういう修理箇所がたくさんあるということもありますので、早急にこれは、市長、検討できるように考えてください。

豆敷のほうも、やはり生徒数が激減していて、校長先生たちも悩んでおりました。生徒数が少ないから、何とか少しでも子供が増えてくれりゃいいんですけど、いう切実なお言葉でした。これは、すぐそれがなるといふわけにはいきませんので。

しかしながら、今から先を考えると、やっぱり久田は、巖原以南の学校、廃校にはなりました。今の残っているのは豆敷だけでしょう。

ここが、もし統廃合せないかんという状況になってきますと、久田が本校になってくるんです。子供たちは、巖原には行かんでしょう。そうしますと、余計に久田の学校というのは、整備はしっかりしとく必要があると思うんです。

豆敷のほうの学校の統廃合というのは、考えておられますか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 統廃合については、現時点で確定的なことは申し上げられませんけれ

ども、これは豆酩地区も含めて、対馬全体の子供たちの人数の状況を見ながら、検討してまいりたいと考えているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 私も生徒数を、ずっとこの何年間、こうなっているということもお聞きをしました。やっぱり厳しいなと思うんですが、やはりそういうことをやるには、地元の人たちの意見というのを、十分に聞いていただいて、それからできる限り、やっぱり地元の人たちは地元で学校に行かせたい、立派な学校があるわけですから、そういうこともありますし、市のほうにすれば、財政の件もあるでしょう、そこら辺も含めた中で、検討をよくよくしていただきたいなと、このように思います。

それから、これは通告をしておりますが、教育部長、厳原地区の学校給食調理場のエアコンの件を、前々からお願いしておりました。これは今どのような状況ですか。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、八島誠治君。

○教育部長（八島 誠治君） 厳原調理場のエアコンの件でございますけれども、今年度といたしまして、令和3年度に設計の予算をつけて、繰越しをしまして、先日の5月31日付が工期でございます、一応、設計ができたところでございます。

今、この設計を基に、今度の振興計画のほうに計上をいたしまして、次年度の実施に向けて、予算の獲得に努めてまいりたいと思っている状況です。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 給食センターというのは、物すごい火を使うから暑いんです。そこで仕事をされている方というのは汗だくです。やっぱりそういう環境をしっかりとした中で、仕事していただくというのは、基本だろうと思うんです。基本計画に上げて、それを振興計画に上げてやっていくということですが、いつになるか分かりません。

振興計画に上げてやるということになると、いつできますということではできません。そういうこと考えると、振興計画に上げてやります、ということと言っときさえすれば、それでいいというものと違うんです。

実情をしっかりと見た中で、いかにこれを早くしてやれるかということを考えるのは、あなたたちの仕事なんです。そこら辺しっかりと踏まえてやっていただきたい。早くできるようにしてください。お願いします。

それから2点目に移りますが、統廃合の件なんです、市長、先ほど現存しとる廃校になったところが24校ですか。今現在あるのが16校。24校廃校があるわけですが、これを有効に活用するというようになってきますと、今まではやはり基本条例がありまして、なかなか使いに

くいという面がありました。この24校のうち、償還金はどれくらい残っていますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 償還金につきましては、私のほうでは把握はしておりません。教育委員会のほうにお願いをしたいと思います。

ただ、今現在、廃校舎、先ほども申しましたように、24校舎あると。そのうちの利活用されていない校舎が16校舎ということで、（発言する者あり）16校舎、木造校舎のほうは、割と利活用してあるということは聞いております。

こういったところは、もう残存価額がないということで、使用料もかなり安くなるというようなこともありまして、木造校舎はかなり利用はされてますけど、鉄筋コンクリート校舎がやっぱりまだ耐用年数が60年ですか、残存価額が残っているということで、高額になると聞いております。

残存価額の件は、償還金の件は教育委員会のほうにお願いします。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、八島誠治君。

○教育部長（八島 誠治君） 償還の部分でございますけれども、基本的に補助金残っておるところもございます。最近、統廃合になった学校もございます。

利用の貸し付ける状況によりまして、国のほうの補助金も返還しなくてもよい場合もございますし、貸出先によってまた変更が出てまいります。

ただ、無償貸付けでありますと、基本的には補助金の償還はしなくてもいい状況でございます。有償ということになりますと、その部分で補助金の返還等出てくる場合もありますので、その状況によって変わってくるのかなと思っております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 教育部長、分からんような話をしても駄目ですよ。もう少し全体的にあるわけですから、これ償還残っとうでしょう。残っとうでしょうが。それは幾ら残っているんですかって、全体の校舎で、鉄筋もあれば木造もある。だけど、その金額は幾らぐらいあるんですか。

それは財産管理のほうに、所管も移つとると思うんです。教育委員会じゃなしに、廃校になったところは、確かそうだと思うんですが、だけど、私が聞きたいのは、廃校になってそのまま潰れかけとる校舎もありますが、要は償還金が限度がありますから、木造では50年、鉄筋コンクリートやったら60年あります、その間、それ前に廃校になつとるわけですから、残りがあるわけです。その残りの償還金が対馬全島でどれくらいありますかということを聞きよる。分かりますか。分からんやったらええですよ。曖昧なこと言うたらおかしいことになる。これ議事録に載りますから。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、八島誠治君。

○教育部長（八島 誠治君） すみません、質問の趣旨を勘違いしておりまして、幾ら残っておるかということにつきましては、現在、手元に資料もございませんので、把握はしておりません。

必要ということで、後ほど提示はできるかなと思います。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 例えば、この償還金が残っておれば、今現在でも廃校になつるとこの償還金があるわけですから、国に返していっとると思うんです。朽ち果てとってでも、償還金が残つとれば、払うていかないかんわけです。

だから、私が言うのは、結局そういうところをしっかりと早く崩れんうちに、利活用して、そして広域的に多方面の方たちに、それを利用していただくと、市がするんじゃなしに、民間の方に金を出していただいて、改造してもらって、自分たちの用途に応じたような展開をしていけば、市にもそんな負担かからんと思うんですが、それを今度、条例で無償になるということですから、かえってやりやすくなりました。

ですから、そういう意味で無償にされたんだと思うんですけども、それであれば余計にそういうところを、償還金が残つとれば払わないかんでしょうが、民間に貸すんだったら、償還金は払わんでいいとはなりませんよね。

そこら辺はどうなっているのか、聞きたい。そうせんと民間の貸出しはやりにくくなってきますから。どちらが答弁してくれますか。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、八島誠治君。

○教育部長（八島 誠治君） 償還というのは、起債関係の償還ということでよろしいですか。基本的に学校建設してかなりたっておりまして、恐らく起債のほうの償還は終わっておるものと思います。国庫補助金については、耐用年数によって、利用状況、有償での売却とかになりますと、返還も出てまいります。基本的には国庫補助金について無償の場合は、補助金の返還は発生しません。そういう形でよろしいでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 物は分かるように言わんと駄目ですよ。償還金が残つとるんであれば、幾ら残つとるんですかと聞きよるわけです。ないんやったら、ないと言ってください。次の質問の仕方があるんですよ、私は。ないんですか。今、資料がありませんから、それは答弁できんでしょう。できんならできんと言ってください。

やはりこの廃校跡地の件で、一つ私も聞き及んだ話があるんですが、浅海中学校、美津島町の、そこに、市長のほうに何か相談来てないですか。私の聞き及んだところでは、自衛隊の電子部隊が入るような話を聞いておりますけども、市長のほうは、それは承知しておりますか。



○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 浅海中学校の件につきましては、正式には私のところには、まだ来ておりません。

ただ、担当部のほうに、隊員の方がお見えになって、できれば訓練施設というようなことで、借りることは可能か、それかまた売却が可能かというようなことは、打診は来ておりますけども、ただその後、正式には来ておりません。

私たちもちょっとできるだけ早めに、その相談もしていただかないと、こちらもいろいろと事務処理等がございますので、できるだけ早い段階で、申請、または御相談等をお願いしたいということは言うとります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 私の聞いたところによりますと、100名程度の電子部隊ということで、日本で4か所開設しとるらしいんです。大体100名前後じゃないか、3交代あるから100名程度じゃないか、というような話もございますし、それが来れば宿舎も造らんといかんだろうというような状況、そういう話も聞いております。それは定かじゃありません。話を聞いてただけですから、市長にそれを、お聞きをしおるんですが、そういう状況もありますので、そういうことも含めて、廃校の跡地をそういうのに有効に使っていただければ、一番いいことなんです。

廃校をやはり一般に広く、家賃がかからん、ということになりますと、広くアピールする必要があると思うんです。例えば、インターネットに載せて、図面をつけて、環境とかいろんなやつを載せて、そして公募をかけると、やはりそれについても、光通信ケーブル、これを早くやらんと企業はのってきませんよね。

この前の市長の答弁ですと、それはやり変えるというお話もありましたが、それはいつぐらいになりますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 対馬市内の光化は既にできているんですけども、ただこれが市民の皆様から、速度等がまだまだ不足をするというようなことでございますので、この対馬の光関係の施設を民間に譲渡をすることによって、速度等を早くしていこうというようなことで、今確か、公募していると思っております。

もうしばらくしますと、そこら辺でまた審査会等が開かれるんではないかなと思っております。私のほうには、何社そういったところに来ていたかという情報までは、上がっては来ておりませんけども、今そういうことで進んでおります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（８番 船越 洋一君） それも早く進めるようにしないと、立ち後れていきます。

もう一つは、廃校跡地を利用して、今の老人介護施設、それから老人ホームですか、入江議員がよく言いますけれども、３１５人の待機者がおる、これ何とかならんかという話を何回もされとるみたいですが、廃校跡地を利用して、そういうことにも利用すると、それを民間に公募をかけて、それでやるというふうなこともあるでしょうし、それをつくったにしても、介護士がいない、やっぱり介護士の養成施設ですか、こういうことも一つ考える必要があろうかと思います。

今から先の老人福祉のことを考えますと、やはり介護士不足ですよ、今。そうなってくると、待機者はおって、施設は空いてますが、介護士がいないから受け入ができません、というような状況も現実にあっております。それは本土から連れてくるというのも大変な経費がかかりますから、やはり地元は地元で、そういうことも含めた中で、検討をしていく必要があるんじゃないかなと思います、答弁をお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この廃校跡の利活用については、まだまだ詰めていかなくちゃならないところも、多々あろうかと思います。そういうことで、特に廃校舎でも、鉄筋コンクリート造りの場合は、かなり残存価額が残っておりまして、これを貸し出すときには、その利用料というのかなり高額になるようになっております。

そういったところを、少し改善をして、利用者が利用しやすいようにというようなことで、今回、条例等を改正をお願いしているところでありまして、これができれば、かなりの利活用が進むものと思っておりますので、このことにつきましては、今後しっかりと進めていきたいと思っております。

そして、また、利活用の中で、介護関係のそういった専門学校的なもの、そしてそういった訓練施設になるんですか、そこについては、私も今ここで、どうしたいということまで、計画も頭の中にもありませんし、今後いろいろと勉強をさせてもらいながら、組立てをしてみたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） ８番、船越洋一君。

○議員（８番 船越 洋一君） 市長、今後勉強させてもらうじゃ間に合いません。間に合いません。廃校舎はあるわけですから、今現在、たくさんあるわけですから、それをいかに利活用していくかということを考えると、今から勉強しますじゃ間に合いません。早急に勉強してください。徹夜でして。

対馬というところ、この島自体を特色のある島にしなきゃならんと思うんです。先ほど言いましたが、福祉のことにつきましても、福祉に優しい島ですよと、そういう施設もしっかり整っています。環境もいいですよ、福祉施設も入居できる場所もあります。準備しとります。

まず一番先は、対馬の待機者の方たちを優先し、入れなあかんでしょうが、少し高額な宿を造って、島外からこちらに帰ってくる、いうものを造れば、そこら辺でも変わってくると思います。特色が要ると思うんです。対馬いうのはどういう島ですかと言われたときに、対馬は福祉には本当に優しいおもてなしのいい島なんですと、そういうつくり方もあるんじゃないかなと思うんです。

それには、廃校を利用した、そういうことも含めた中で、どういうふうにしていけば、施設に入っている待機者の人たちはクリアできるようになるのか、ということを実際に考える必要がありそうですが、今から勉強するじゃ間に合いませんので、早急に勉強して、何とかこれが進んでいくように、公募をかければあると思うんです。公募をかければ。

それで光通信ケーブルについてでも、もうできとりますと、そういうこと、環境をしっかりとくった中で、公募をかけていけば、私はよくなっていくと。

先ほど言いましたが、償還金の問題、鉄筋コンクリートだと、まだ残ってます。その金は、その校舎が潰れてでも、終わるまで払うていかなきゃならん。これは誰が払うかという、対馬市が払っていく。そういうことを考えると、早くそういうことも整理をして、活用を考える必要があると、私はそう思います。

ですから、庁舎内で、そこら辺のことも含めた中で、アクションプランとかいろんなあります。そういう計画がいろいろあるやないですか。ただ、計画にのっとって1つずつやっていきますよと言うんではなしに、突発的にこういう問題が、廃校の問題についても、減免、また家賃もいらぬいう条例ができましたんで、使いやすくなりました。

だから、木造のところは人が、住まんなんたら腐ってしまいます。腐ってでも、償還金が残っていたら、払うていかなかん。そういうこともあろうかと思えます。

ですから、そういうこともしっかり踏まえた中で、どうすれば対馬がよくなっていくかなということ、1つの目標だけじゃなしに、いろんな方面に目を向けてやっていくのが、市長の仕事だと思えます。しっかり目を据えて、あっちもこっちも見て、その中で対馬を引っ張って行ってください。よろしくお願ひします。

4分残しましたが、これで終わります。お願ひします。

それから教育長、久田小学校の件については、今、市長にもお願ひしましたが、予算を早く出していただいて、一日でも早くこれができるように、よろしくお願ひしときます。お願ひします。

以上で終わります。

○議長（初村 久藏君） これ以て船越洋一君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 昼食休憩とします。再開は1時ちょうどからといたします。